

ブロッコリー

月	旬	作型	主要作業	栽培の要点	摘 要																					
8	上		品種選定	品種:ピクセル、グランドーム、T-517,盛緑180等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="3" style="text-align: right;">施肥例 (kg/10a)</th> </tr> <tr> <th style="width: 30%;">肥料名</th> <th style="width: 30%;">基肥</th> <th style="width: 30%;">追肥</th> </tr> <tr> <td>完熟たい肥</td> <td>2,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ミネリンパワー</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B B 野菜一番</td> <td>140</td> <td></td> </tr> <tr> <td>NKC3号</td> <td></td> <td>40</td> </tr> <tr> <td colspan="3">成分量: N21.2 P:21.6 K:14.8</td> </tr> </table>	施肥例 (kg/10a)			肥料名	基肥	追肥	完熟たい肥	2,000		ミネリンパワー	100		B B 野菜一番	140		NKC3号		40	成分量: N21.2 P:21.6 K:14.8		
	施肥例 (kg/10a)																									
	肥料名		基肥	追肥																						
完熟たい肥	2,000																									
ミネリンパワー	100																									
B B 野菜一番	140																									
NKC3号		40																								
成分量: N21.2 P:21.6 K:14.8																										
中	圃場準備	<ul style="list-style-type: none"> ・風当たりの弱い圃場を選定し、防風対策を実施する。 ・深根性であり、耕土が深く排水良好な圃場を選定する。水田では高畦にするなど排水対策を実施する。 																								
下	播種育苗	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌pH6.0を目標にたい肥、土壌改良材は、定植20日には散布し、耕耘しておく。 ・基肥は定植7～10日前に施用する。 																								
9	上		定植	<ul style="list-style-type: none"> ・128穴トレイを用い、10aで38トレイ準備する。 ・早生品種ほど育苗期間は短くし、若苗定植とする。 	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">育苗期間</th> </tr> <tr> <th style="width: 30%;">品種早晚性</th> <th style="width: 30%;">育苗日数</th> <th style="width: 30%;">本葉数</th> </tr> <tr> <td>極早生・早生</td> <td>25～30</td> <td>3枚</td> </tr> <tr> <td>中早生・中生</td> <td>35</td> <td>3枚</td> </tr> <tr> <td>中晩生・晩生</td> <td>40</td> <td>3～4枚</td> </tr> </table>	育苗期間			品種早晚性	育苗日数	本葉数	極早生・早生	25～30	3枚	中早生・中生	35	3枚	中晩生・晩生	40	3～4枚						
	育苗期間																									
品種早晚性	育苗日数	本葉数																								
極早生・早生	25～30	3枚																								
中早生・中生	35	3枚																								
中晩生・晩生	40	3～4枚																								
中	下	追肥	<ul style="list-style-type: none"> ・栽植密度 畦幅70cm×株間35cm 4,000本/10a (品種に応じ、栽植密度は調整する。) ・本葉3枚を定植の目安とする。 ・定植前にはトレイは十分に灌水し、苗抜きを容易にする。また、定植時も植え穴に灌水し、活着を促す。 ・高温時の定植は植え傷みが大きくなるので注意する。 																							
#	上		中耕・土寄せ	<ul style="list-style-type: none"> ・追肥は1回目 定植15～20日位までに (本葉6～8枚頃) 2回目 1回目追肥の20日後に施用する。 ・早生種は2回目の追肥は行わない。 	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">異常花蕾と発生原因</th> </tr> <tr> <th style="width: 50%;">症状名</th> <th style="width: 50%;">原因</th> </tr> <tr> <td>ボトニング (不時小出蕾)</td> <td>活着不良、窒素欠乏 早生種の植え遅れ等</td> </tr> <tr> <td>リーフィー (挿し葉)</td> <td>高温、追肥遅れ、早植え等</td> </tr> <tr> <td>キャッツアイ</td> <td>活着不良、窒素欠乏等</td> </tr> <tr> <td>不整形花蕾</td> <td>老化苗定植、活着不良、多肥、高温等</td> </tr> </table>	異常花蕾と発生原因		症状名	原因	ボトニング (不時小出蕾)	活着不良、窒素欠乏 早生種の植え遅れ等	リーフィー (挿し葉)	高温、追肥遅れ、早植え等	キャッツアイ	活着不良、窒素欠乏等	不整形花蕾	老化苗定植、活着不良、多肥、高温等									
	異常花蕾と発生原因																									
症状名	原因																									
ボトニング (不時小出蕾)	活着不良、窒素欠乏 早生種の植え遅れ等																									
リーフィー (挿し葉)	高温、追肥遅れ、早植え等																									
キャッツアイ	活着不良、窒素欠乏等																									
不整形花蕾	老化苗定植、活着不良、多肥、高温等																									
中	下	除草	<ul style="list-style-type: none"> ・中耕は早めに実施し、生育期間中3～4回行い、除草に努める。 ・追肥後は倒伏防止と肥効促進のため中耕、土寄せを必ず行う。 ・除草剤は一切使用せず、株元で雑草繁茂が著しいところは手で抜く。 																							
1	上		病害虫防除	<ul style="list-style-type: none"> ・コナガ、シンクイムシ、軟腐病には特に注意し、早期発見、早期防除に努める。 																						
	中																									
2	上		収穫	<ul style="list-style-type: none"> ・頂花蕾の直径11～12cm程度になったものを収穫し、高さは、出荷時に17cmに調整する。 (2L - 13cm以上15cm未満、L - 11cm以上13cm未満、M - 9cm以上11cm未満) ・花蕾の光沢があるうちの若どりを心がける。 																						
	中																									
3	上																									
	中																									
	下																									